

令和7年3月3日

保護者 様

今治市立北郷中学校長 竹内 雅之

## 令和6年度 学校評価アンケートの結果について

春暖の候、皆様におかれましては、日頃から本校教育にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、1学期末及び2学期末に、生徒・保護者の皆様にお願ひしました学校評価アンケート、教職員自己評価の集計結果をお知らせいたします。この評価結果を基に、職員会議の実施、学校運営協議会での報告等により、より良い学校づくりのための検討を行いました。

つきましては、生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善に取り組んでいきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

### 記

#### 1 学校の教育目標の達成状況（概要）

教育目標「心豊かに たくましく生きる生徒の育成」ースカッとさわやかな北郷中学校ー

7月及び12月実施の生徒・保護者・教職員に対する学校評価アンケートの結果は、次の表のようになりました。

〈表 肯定的回答率（「よくできている、できている」と答えた回答者の割合）〉

設 問	学校生活に関するアンケート調査結果	生徒		保護者		教職員	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月
1	礼儀正しく笑顔で挨拶を行い、最後までやり抜こうとしているか。	92%	92%	84%	84%	100%	97%
2	やる気を持って、家庭学習に進んで取り組もうとしているか。	80%	85%	52%	54%	93%	90%
3	先生は家庭に連絡を取り合っているか。	93%	94%	93%	95%	90%	93%
4	基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきているか。	89%	87%	68%	71%	93%	100%
5	他の人の立場に立って、行動するように心掛けているか。	92%	93%	84%	86%	93%	93%
6	いじめや差別をしない、差別を許さない気持ちが高まっているか。	96%	96%	95%	98%	100%	100%
7	先生は学校生活において、きめ細かに指導しているか。	95%	95%	96%	96%	97%	97%
8	教室環境の美化に心掛け、黙動で清掃しているか。	93%	91%	47%	49%	97%	97%
9	健康で安全な学校生活を送り、避難訓練に積極的に励んだか。	98%	96%	77%	82%	100%	97%
10	自分の役割に責任を持ち、集団生活の向上に努めているか。	96%	96%	97%	96%	97%	97%

## 2 本年度の主な取組の成果と課題・改善

### (1) 学力向上の推進

ア 授業開始時や授業終了時に振り返りの時間を設け、えひめ学習支援システム（E I L S）を使って小テストを行ったり、朝学習の時間や授業内容の復習にスタディサプリを活用したりして、基礎的・基本的な知識の定着に努めました。

イ 学習委員会が学習通信を発行し、学力を向上させるための自主学習ノートのページ数が多かった生徒を賞揚し、自ら学ぶ意欲の向上を図りました。

ウ 家庭学習の習慣が身に付いていない生徒に、継続的に家庭での学習の大切さを伝えていく必要があると考えています。

### (2) 命を大切にす教育の充実

ア 保健だよりの定期的な配付や計画的な保健指導により、学校内外における保健管理の意識を向上させることができました。

イ 休憩時間の換気や給食前の手洗いを徹底してきました。インフルエンザによる学級閉鎖などはなかったが、基本的な感染対策の意識を高めていく必要があると考えています。

ウ 災害危機管理対応総合訓練や避難訓練（不審者・火災・地震）、シェイクアウト訓練等の各種訓練を実施することにより、生徒の危機意識を高めるとともに、生徒自身が災害から自他の安全を守る力が更に高まりました。また、災害時には、中学生の力が重要であることを生徒自身が実感することができました。

### (3) 心の教育、人権・同和教育の推進

ア 人権・同和教育参観日を実施し、どの学年も意識統一して教材研究を行った結果、生徒の人権感覚を磨き、差別に対する意識を高く持ち、絶対に差別を許さない心を育てました。

イ 全校でスマホ安全教室を行い、正しいSNSの使い方について学び、誰にでも起こりうる事例を紹介し、自分の事として考えました。いじめや差別は身近なところから起こることに気づき、相手の立場に立って考えていくことを再確認し、いじめや差別に気づき、いじめや差別をしない、許さない態度を育みました。

### (4) 生徒指導の充実

ア 月末に、いじめ調査「心の健康アンケート」を実施し、生徒から多くの情報を収集し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めました。また、毎日、学級担任が生徒の日記に一言返事や感想を書くことによって、生徒との心の交流を深め、生徒理解に努めました。

イ 不登校支援員を中心にサポートルームを運営し、登校しづらい生徒の対応に当たりました。また、登校時間や休み時間、昼休みなどに触れ合い巡回活動の徹底を図り、一人でも多くの生徒に声を掛け、生徒と接する機会を多く持つことができました。

ウ 全教職員が生徒理解に努め、生徒指導上必要な情報の共通理解を図ってきましたが、学年間で情報が共有されず、対応が遅くなった事案がありました。報告・連絡・相談を徹底し、生徒一人一人に寄り添った対応をしていきたいと考えています。

## 3 その他

運動部、文化部とも、「運動・文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に沿って活動を実施し、体力や技術の向上、人間関係の構築、自己肯定感、責任感の育成に役立つ活動を行うことができました。また、2028年度に地域移行を控え、部活動指導者の人材確保や練習場所、送迎など、どのように地域と連携していくかを考える必要があると考えています。

今年度、皆様からいただいたご意見・ご提案と学校評価結果を基に、来年度の教育活動を検討します。また、「家庭や地域との連携」を大切にし、積極的な情報発信（学校だより、学年・学級通信、北郷中学校ホームページ）をするとともに、家庭や地域の情報収集にも努め、家庭・地域との更なる連携による学校運営に取り組んでいきたいと考えています。